

9. デルフィニウム

・殺菌剤

FRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
19	ポリオキシンAL水溶剤	散布	発病初期	8回以内	花き類・観葉植物
14	リゾレックス粉剤	土壤混和	定植前	1回	花き類・観葉植物
	リゾレックス水和剤	土壤灌注	生育期	5回以内	

・殺虫剤（参考農薬）

IRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
10	ニッソラン水和剤	散布	-	2回以内	花き類・観葉植物
21	ピラニカEW	散布	発生初期	1回	花き類・観葉植物（カーネーション、きくを除く）

- 注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。
- 注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。
- 注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。
- 注4) 蚕毒・魚毒については、「24. 花き類の総括注意」も参照する。

病害虫名（F：菌類病、B：細菌病、V：ウイルス病、O：その他の病原体）

病害虫名	防除時期	防除方法	注意事項
立枯病 (F)	定植前	1. 苗感染する場合が多いので、罹病苗は絶対に用いない。 2. リゾレックス粉剤を10a当たり50kg全面に均一散布し、土壤とよく混和する。	1. 本病は地際茎のくびれを伴い、根部は障害を受けないので、類似する他の立枯性病害と注意して区別する。 2. 粉剤と水和剤の処理を組み合わせると効果が高まる。
	生育期間	1. 栽培中に発病した場合は、発病株やその周囲の株を抜き取り、リゾレックス水和剤500～1,000倍液を土壤灌注する。	
うどんこ病 (F)	生育期間	1. 発病を見たら、直ちに罹病部を除去し、薬剤を散布する。 2. ポリオキシンAL水溶剤2,500倍液を散布する。	1. 薬剤耐性菌の出現を避けるため、同一系統の薬剤を連用しない。
ハダニ類	生育期間	【参考農薬】 1. ピラニカEW2,000倍液、又はニッソラン水和剤2,000～3,000倍液を発生初期に散布する。	1. ピラニカは薬害の発生に注意する。